

# 錦江湾高校 SSH通信

## 探究活動とは？

**探究活動**とは、自ら問いを立て、答えを求める学びのプロセスです。この活動を通じて、生徒たちは自分の興味や関心があるテーマについて深く掘り下げ、調査や実験を行います。課題解決のスキルだけでなく、思考力や創造性を養うことができます。

**SSH**（スーパーサイエンスハイスクール）プログラムでは、科学技術に関する高度な探究活動を行い、将来の研究者や技術者への道を探求します。この経験は、自分の好奇心を追求し、未来のキャリアについて考えるきっかけにもなります。



*Super Science High school*

## ● 本校サイエンス部の紹介

本校では、SSHの活動で課題研究の授業がありますが、授業外でも、もっと研究をしたいという生徒が集まるサイエンス部という部活動があります。令和5年度は52名の部員で活動しており、最も所属部員が多い部活動の1つです。

サイエンス部の中でも化学・生物・天文学など複数のコースがあり、自分が最も興味のあるコースで活動しています。最近では新たに文系的な題材を科学的な視点で研究する人文社会コースが設立され、理数科の生徒だけではなく、普通科の生徒の入部者も年々増えてきています。研究だけではなく、多くのイベントやTVにも出演し、理科の楽しさを普及しています。

理科が大好きな部員ばかりで、自分が好きなテーマで研究を楽しみ、多くの発表大会に参加し、全国大会や世界大会にも進出しています。これら多くの実績から進路を切り拓いています。



好きから  
道を切り拓こう!!

## ● 錦江湾高校SSHイベント

### ◎ 自由研究お助け隊

実施予定日：7月25日（木）14:00～（今年度）

小学生を対象に、夏休みの自由研究や宿題について、本校の生徒や職員がアドバイスを  
行うイベントです。

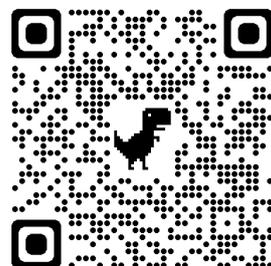
### ◎ 湾ぱく探究コンテスト

実施予定日：8月29日（木）13:00～（今年度）

小学生や中学生を対象に、自由研究の成果を発表するコンテスト形式のイベントです。

※ 詳細な情報につきましては、追ってチラシや本校ホームページにてお知らせいたします。

SSHイベントの情報や様子を掲載していますので、下記のQRからご確認ください。↓



# 研究によって道を切り拓いた生徒たちの紹介

錦江湾高校ではSSHの特色を活かして課題研究による進路実現をしています

## 前原 凜花 さん

### 広島大学 総合科学部 総合科学科

研究をしていて良かった事は、幅広い分野に触れる事で物事への考え方の角度がたくさん増えた事です。考え方の角度が「変わる」というのはよく聞きますが、「増える」ということは、研究に関われたからこそだと思います。そして今の錦江湾高校は、先生方のサポートがとても手厚く、研究面でも学習面でも生徒一人一人にたくさんの先生方が関わってくださいます。受験の際も、メインの指導担当の先生に加え、3、4人の先生方、校長先生、教頭先生にサポートやアドバイスをいただきました。大学受験では、これまで以上にこの研究について深く考え、知識をつけ、3年間の集大成として入試のプレゼンに臨みました。



## 佐々木 瀬那 さん

### 鹿児島大学 農学部 農学科

入試は研究のプレゼンテーションが必要な学校型推薦Iを利用しました。なぜなら錦江湾高校にはSSHがあり、探究活動に特化したサイエンス部に所属し、3年間研究に没頭していたからです。自分の好きな研究に取り組む中で、自らの専門知識を深めるとともに、仲間と協力することの大切さを学び、サイエンス部の活動を通して私は高いコミュニケーション能力が身についたと思っています。研究の方針やアイデアの共有を通して、他者と協働することは重要で、これらの経験を大学でも活かしていきたいと思っています。

## 樋山 翔子 さん

### 長崎大学 経済学部 総合経済学科

私が受験した総合型は、まず一次試験で書類審査に合格し、二次試験はプレゼンテーション型面接・数学基礎学力・小論文という試験方式でした。一次試験の合格発表後にプレゼンテーションの課題が発表され、三週間程度の期間の中で、テーマの選定・内容作成・発表の練習までを行なわなければならなくて、スケジュール管理がポイントとなりました。錦江湾高校のSSHで課題研究を学んでいたもので、プレゼンテーションの際のパワーポイント作成・操作・発表に活かすことができ、今回の合格に繋がったと感じています。



## 小齋平 宇笠 さん

### 鹿児島大学 農学部 農学科

私は3年間の課題研究を続けることで、入試に必要な思考力やプレゼン力に身につけ、受験で合格することができたと思っています。またサイエンス部の活動では、実験教室などのボランティア活動や大会を通して多くの貴重な経験をすることができ、自分が大きく成長したと感じています。錦江湾高校での3年間は楽しいばかりではなかったですが、自分のやるべきことなどをきちんとする大切さや人と話をすることが大切だと学ぶことができました。高校生活で得られたことを、その後の大学生活でも活かし、研究を継続して頑張りたいです。

## 瀬戸山 凌汰 さん

### 下関市立大学 データサイエンス部 データサイエンス学科

私は課題研究としてザトウムシをテーマに、校内に生息する個体の脚の長さや数を測定し、ザトウムシがクモの巣に引っかかる原因を解明しました。普段皆さんが気がつかない生き物(ザトウムシ)の面白さを様々な大会や学会で発表し伝えてきました。大会や学会を通して、自分の意見を相手に伝える力や表現する力が成長しました。中でも「文部科学大臣賞」を受賞できたことが私の1番の思い出です。入試は小論文形式で、グラフや表からデータを読み取り、自分の意見を書く必要がありましたが、課題研究での経験を活かし、入試当日も自信をもって書くことができました。



## 野元 颯真 さん

### 鹿児島大学 農学部 農学科

私は課題研究をやって良かったと思うことが2つあります。1つ目は、研究を通してたくさんのスキルを得ることができたことです。例えば、パソコンや実験器具の使い方、データの分析方法、コミュニケーション能力などです。友達や先生方に教えてもらったり、大会に参加することで成長することができました。2つ目は、受験に役立つことです。課題研究は、面接や志望理由書などで自分をアピールする際に役立ち、実際に私が受験した鹿児島大学農学部農学科は農学または理科に関する研究をプレゼンテーションかポスターで発表するというものでした。自信を持って臨むことができ、大学の先生にも興味を持っていただくことができました。

## 平野 将仁 さん

### 高知工科大学 情報学群

私は、高校3年間で弓道の軌道計算について研究しました。研究には、数学・物理の授業で習ったことを活かし、矢の軌道というマイナーなところに着目し、オリジナリティ溢れる研究として評価され、いくつかの賞を獲得することができました。1年の時から本格的に研究を行っていたので、周りの人より多くの発表会に参加することができ、多くの経験を積むことができました。課題研究を通して、他者と自分の考えを共有する大切さや意見を出し合い解決策を探し出す方法を学び、面接でのアピールポイントにもなり受験時にとても役立ちました。理科が好きで研究に興味がある人は、錦江湾高校への入学を検討してみてください。

